

千葉大学医学部附属病院で下部消化管穿孔に対して緊急で手術を受けたされた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年3月19日
麻酔・疼痛・緩和医療科

麻酔・疼痛・緩和医療科では、下部消化管穿孔に対する緊急手術患者における Post Induction Hypotension (PIH) の関連因子を調査する多施設後ろ向き観察研究に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2022年4月1日～2025年10月31日の間に下部消化管穿孔に対して緊急で手術された方

1. 研究課題名

「下部消化管穿孔に対する緊急手術患者における Post Induction Hypotension (PIH) の関連因子を調査する多施設後ろ向き観察研究」

2. 研究期間

2026年承認日～2029年3月26日

この研究は、国立大学法人富山大学臨床・疫学研究等に関する倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

下部消化管穿孔（結腸に穴があいてしまう状態）によるショック状態などの患者さんに対する麻酔では、急速に状態が悪化する可能性が高く、麻酔科医にとって大きな課題です。しかし、このような患者さんに対する最適な麻酔方法に関するエビデンスは限られています。重症患者における安全な麻酔導入（麻酔をかけること）のためには、一般的に使用される導入薬それぞれの血圧へ与える影響を明確にすることが求められています。そこで、今回、麻酔導入薬が、血圧に与える影響を評価し、重症患者さんにおける

最適な麻酔導入薬の選択に寄与できるエビデンスを提供することを目的に多施設共同で後方視研究（カルテのデータを集める研究）を行うことにしました。

本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置き換えた情報は富山大学麻酔科研究室に提供され、解析がおこなわれます。氏名等と研究 ID との対応表は外部には提供されません。

4. 研究に用いる情報の種類

電子カルテおよび麻酔記録に保存されている情報を利用します

電子カルテ：身長・体重・年齢・基礎疾患

麻酔記録：血圧などの生体モニター情報、麻酔薬使用量など

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

研究代表機関名	研究代表者
富山大学	高澤知規
共同研究機関名	研究責任者
千葉大学医学部附属病院	孫 慶淑

その他の共同研究機関は別紙一覧にてご確認ください。

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、富山大学および各研究機関において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。

情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

麻酔・疼痛・緩和医療科 助教 孫 慶淑

043（222）7171 内線72321